

令和4年5月15日執行

稻美町長選挙公報

発行者 稲美町選挙管理委員会

地産地消の 給食無償化 企業誘致で 年収&税収UP 働き方の多様化を推進

稻美町の未来を
土原に託しますか?
託しませんか?



今、土原翔吾が町に求められています。
なぜ、土原が声をあげなければいけない
状況にまでなってしまったのか...

子育て世代、現役世代の皆さんまで盛り上げていきたい。
高齢者も子どもも一緒に笑える稻美町でずっといたい。
皆さまが未来もずっと稻美町を誇れる稻美町にしたい。
土原翔吾と一緒に想いを形にしていきましょう。

つち
はら
しょう
ご
土原翔吾

元教師 起業家

稻美町の未来に向かって挑戦します! ～実現します! いなみビジョン2030～

01 オンリーワンな人づくり・まちづくり

みんなの夢やいいね!を実現するために

キラリと輝く人づくり 実現します!

- 若い世代が、自分の意見をしっかりと行動する町
- 若い世代が、まちづくりや政治にもっとかかわる町
- 国際社会における多様性や異文化コミュニケーションに対応した人づくり
- こどもの夢の実現を応援し、出来たを体験できる町

いいね!があふれるまちづくり 実現します!

- 稻美町から世界に羽ばたくスポーツ選手が育つ町

- 天気のいい休日、空を見上げたらフワフワと氣球が飛んでいる町

- 自然あふれる公園や花畠の中で、カフェやランチ、音楽フェスなどができる町

- 本物の学校給食がそのまま味わえる「給食ランチ」が楽しめる町

- キャンプやスケートボードなどを楽しみに、遊びに来てくれる町



◆プロフィール

稻美町国安在住

家族:妻、長女、長男、次男

国家資格:社会福祉士、精神保健福祉士

地域活動:稻美町消防団公安部部長、天満東小PTA会長、

天満地区農産部長会会長

◆経歴

昭和48年3月 稲美町生まれ

昭和60年3月 天満東小学校卒業

昭和63年3月 稲美中学校卒業(生徒会長)

平成3年3月 加古川東高校卒業(43回生)

平成7年3月 関西学院大学法学部卒業

平成7年4月 稲美町役場入庁

令和4年2月 稲美町役場退職

<https://t-nakayama.jimdo.com/>

02 日本一優しさに包まれるまち 稲美

人の痛みや苦しみをみんなが分かり合える社会

誰もがほっとする居場所づくり 実現します!

- 介護予防や介護サービスがしっかりと受けられる町
- 住み慣れた地域でみんなと一緒に、働き、生活できる場所がたくさんある町
- 一人一人の個性が發揮できる働き場所(農業やモノづくり、サービス業)がたくさんある町
- 福祉活動などのボランティアでたまる、生活で使える地域通貨がある町

本当に子育てしやすい町ナンバーワン 実現します!

- 稻美町の安全安心でおいしい給食を継続
- 小学校区ごとに、空き家を活用した公設民営の子育てスペースの設置
- 緊急預かり保育の確保事業の実現
- 幼児教育の充実、就学前からのきめ細やかな支援(スククリーニングと早期療育)
- スクールソーシャルワーカーの充実強化による子ども、家庭、学校への支援
- 認可外保育の無償化の実施
- フレースクールの出席認定と費用負担補助の実施



03 日本一働きがいのあるまち 稲美

守るべきものは守りつつ果敢に挑戦

持続可能な農業の再生 実現します!

- 5月には町中にレンゲが咲き誇り、それが肥料となっておいしい「稻美米」がとれる町
- ブランド野菜や有機野菜を生産する農家、消費者、流通・加工業者の連携による「野菜の町」
- 農業がさらにやりやすく整備された農地で、若手農業者が大規模に米や野菜づくりに取り組める町
- 空き家と農地を活用した「農泊」で、お試し居住や移住する人が増える町
- 現在の営農組合や土地改良区の広域化が進んだ先に、稻美町全体の営農・土地改良組織の設立

規制緩和と土地利用による商工業の振興 実現します!

- 地場産業や地元企業がもっともっと成長して、雇用が増えて働く場所がたくさんある町
- 調整区画の宅地開発や商業施設の誘致による人口減少対策
- 町北部工業地域の道路・排水整備の早期実施や東播磨南北道路へのアクセス道の整備
- 播磨臨海地域道路のインターチェンジの町内誘致と周辺開発
- 中小企業の成長を下支えする仕組みづくり
- 空き家を活用したコワーキングスペースや商工会の多種多様な事業所が連携して、チーム稻美で仕事ができる町
- コロナ後における電子マネーを活用した地域経済の活性化

稻美の
未来を築く!!



なかやま
町長候補
無所属
元稻美町職員
中山 俊徳

04 住みやすさナンバーワンのまち 稲美

安全安心なまちづくり

もっともっと住みよい稲美 実現します!

- スポーツ施設のネット予約やキャッシュレス決済の導入
- LINEを活用した情報の発信(広報のペーパーレス化)や町の話題(民間情報)の共有
- 村中の道路や路肩の整備(総点検の実施)
- 路線バスの確保とデマンド型乗り合いタクシー(あいのりいなみ)の拡充と申込のIT活用

もっともっと安心安全な稲美 実現します!

- 今よりももっと明るく、防犯灯の増設
- 子どもの安全を守る、防犯カメラの増設
- 子どもの命を守る、通学路の歩道の確保
- 住民の命を守る、自主防災組織の充実



まちと実行力の
49歳

より詳しい公約の内容は
ホームページQRコードから
ご覧頂けます。
Facebook、Twitterで発信中!



<https://t-nakayama.jimdo.com/>

令和4年5月15日執行

稻美町長選挙公報

発行者 稲美町選挙管理委員会

継続こそ力!

人にやさしく、まちに活力を!
『協調と対話』の町政
経験と実績で未来へつなぐ



古谷ひろし

古谷

●プロフィール●
昭和21年 稲美町国岡生まれ。
昭和40年県立農業高等学校卒業後
明石市役所に奉職。経済民生部、
都市計画部、開発部再開発課長、
環境部環境事業所長、
産業振興部卸売市場長等を歴任、
平成17年12月退職。
平成18年6月稲美町長就任、現在に至る。

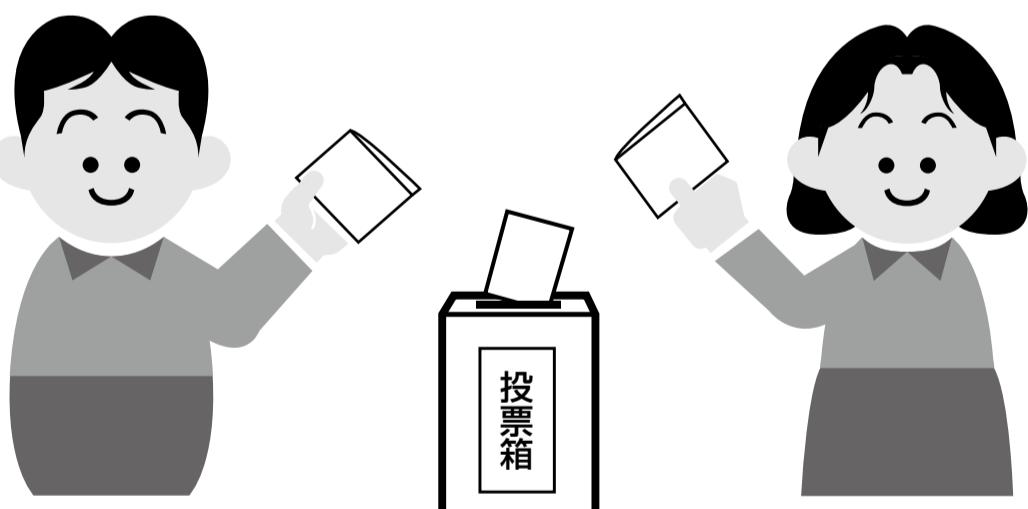
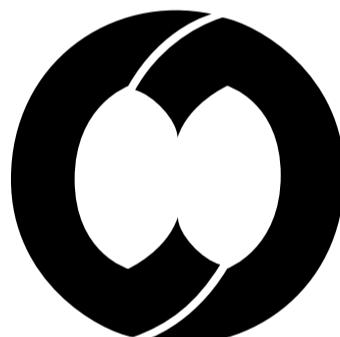
今、町政の停滞は許されません。
未来への継続!

ひたすら町民の限りない幸せのため
粉骨碎身、頑張つてまいりました。
これからも皆さまとともに、
未来へつなぐ
まちづくりに取り組みます。

「子育てがしやすい町」いなみ
「高齢者にやさしい町」いなみ
「活力ある持続可能な町」いなみ
「これからも住み続けたい町」いなみ
「行政改革で健全な町」いなみ

自立する稲美町
皆様とともに!

引き続き 新型コロナウイルス対策に全力



みんなそろって 投票しましょう

投票日

5月15日(日)

投票のできる時間は午前7時～午後8時

期日前投票もお忘れなく

投票日に仕事などで投票所へ行くことができない方は、14日(土)まで稲美町役場で期日前投票をすることができます。

詳しくは、稲美町選挙管理委員会へおたずねください。☎079-492-1212 内線 233・234

